

# 文学研究科日本語学日本文学専攻・博士後期課程 専門分野・教員一覧

## ■教授

<b>古瀬 雅義</b>	博士（文学） ※日本語学日本文学専攻長
主な担当科目	●古代日本文学特殊講義A・B ●中世日本文学特殊講義A・B ●日本文学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	古代中世の日本古典文学を専門領域として研究している。特に『枕草子』『源氏物語』そして和歌について、章段・物語・和歌に用いられる表現と展開との関わりに注目して、考察を進めている。また中国四国地方にある古典籍を文献調査して紹介している。

<b>江口 泰生</b>	博士（文学）
主な担当科目	●日本語発達史特殊講義A・B ●日本語学・国語教育学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	日本語の構造を明らかにし、それが歴史的にどのように展開したかを研究している。特に音韻と文法の境界領域である形態音韻論分野に力を注いでいる。外国資料（特にロシア資料）・古辞書・方言資料などを利用して、現象の発見と説明に取り組んでいる。

<b>谷口 邦彦<sup>※</sup></b>	修士（芸術学）
主な担当科目	●国語教育学特殊講義A・B
研究内容	書写書道教育における実践的研究に取り組んでおり、授業づくりや授業改善の視点から学習者の実態や学習過程の分析を中心に研究を進めている。

<b>外村 彰</b>	博士（文学）
主な担当科目	●近代日本文学特殊講義A・B ●日本文学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	近代日本文学、とくに昭和十年代前後の詩歌・小説の精読をベースに、室生犀星や岡本かの子といった審美的文学の探究、埋もれた詩人の発掘、新たな評価付けを試みる地域文学研究、併せて当該領域の書誌・雑誌調査研究を行っている。

<b>信廣 友江</b>	博士(学術)
主な担当科目	●国語教育学特殊講義C・D ●日本語学・国語教育学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	書道教育学、とくに学制頒布以降現代に至るまでの書教育に関わる制度並びに学校教育における書道分野の位置づけ、趣旨、教育内容の変遷を中心とする歴史研究を行っている。

<b>増田 知之</b>	博士（文学）
主な担当科目	●漢文学特殊講義A・B ●日本文学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	中国明清時代における書文化の発展・変容の実相について、文献資料のみならず法帖・墨跡などモノ資料をも活用した分析的研究を続けている。最近では、「帖学」から「碑学」へという書文化のパラダイムシフトについてより多角的な考察を試みている。

<b>宮岸 哲也</b>	博士（言語文化学）
主な担当科目	●現代日本語特殊講義A・B ●日本語学・国語教育学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	言語類型論、対照言語学、日本語教育、特に体言化に関する類型論的研究、ナル相当動詞の認知類型論的研究、シンハラ語母語話者対象の日本語教育文法構築のための日本語とシンハラ語の対照研究、チベット・ビルマ語派のゾゾ語の記述研究を行っている。

※氏名横の「※」は研究指導の補助を示す。